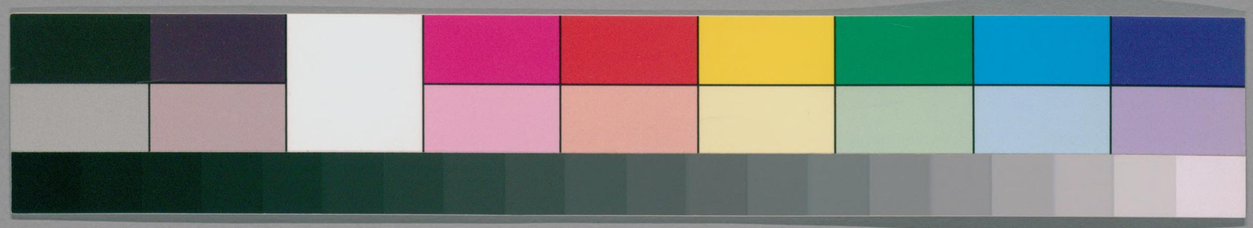


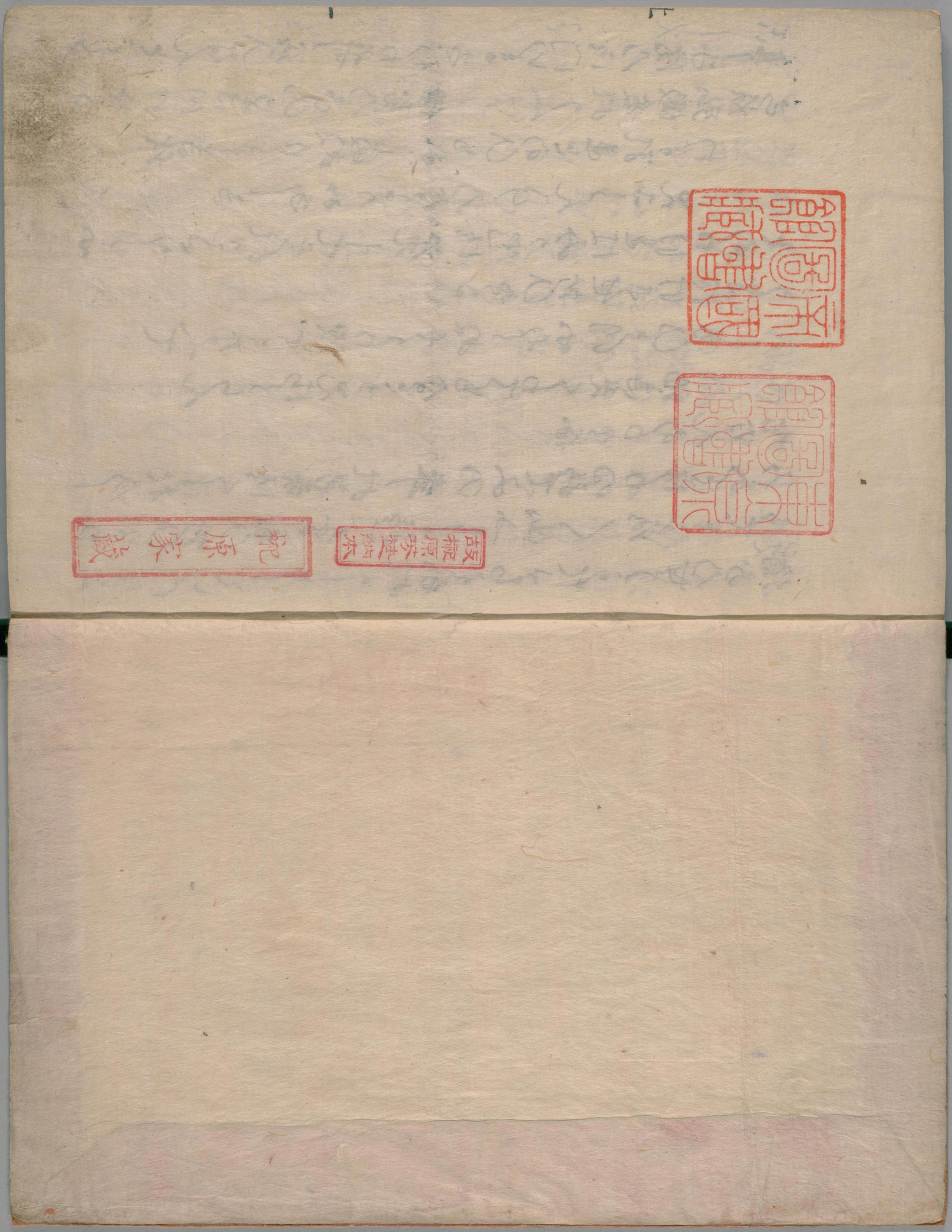
WA 7
196
(1)

帝國圖書館
和書
門
帝國圖書館藏書
門類
函架號
冊數

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用



ゐ寺の院の門いまのおわ井なんとする
ちかき弘徽殿あれうん伊勢の海のまきの
わのまきまとおひもおしこめぬりこき
えさうんうのなるの
とのわけまはみのもにこ
うまはけさせ竹ひきる
ゐひとのみおこぬそうわ
ゆき先くわてもなとう
ゐなんあわくる
みかとわわのおてみの等はれあ
ておとうくしふうおてをこおひ竹ひくわ
編おのせうそそちうかれよりとひきる

人間うおりまきを給御衣とにさふひて
くお海おけまは角のてはもにうら
そくわ人みもうまなまそあるき初ひきる
活ともうあまなんとくれを
あく給はあるまき給ふいとき事なるとそ
内うわかれ中うあまうへとそそ
まつをけまとうひはくみ
くいたわ竹てひ海といまよ
のわいとんかうかすうみて
思ひていとうのうわくわそひねとうみを
をうおよめとおわせあとうわけまいうの
と大とく

ふるさとのたひねのゆめもさめぬるか
　うゝやすゝんもうるさとはなれ
とあわをるりそなひとなれてえよもひなわみ
くわうれみをなん寛蓮大とくいひてめちまそて
うふらひくなん源大納言宰相みうねはうこ
き京極のうやもを本意みたくけ物をと
なとそりまれ事なんせんと思よはくけ物をと
えたみさえた勢うせて妙ひけまはむ
けこをはまたせうも竹へてこにいろくに
そあさもたれくわしきまれのをわりのうもなくこは
うめよわくこなるかとんおあはをそせさせおひ
くわそれもとをれ月こもりりえおいそ

きはてゝをわうそそれ十月はねまちのねうの物
いうきおひけはんのりとりこせたわけふる
ちぐのいろふいうまー秋のすぎみくわ
いまそまくれりなよ残そめます
そのをりのいうきおけはとまハはをなくあまもわも
うまよわもいひのりおけはをれまわのちい
をうとやおうわをんせうそこもいてをいて
のはこりわかなわにけまは
うそうけのみるやのわれもうなれの
　なくそきのこありひいのふきこ
とんいへをけるをそれみー
えれをわうそきさうきうりにな

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

わけなうきなんこれ家に
おほやぎのいとうちりへ
りぬ日ともうおりひ
そてなんあわれをけまはい
ねそてなんうわけうめ大弐すこともうさこ
のとまうての後にちくまそか
おかへりのもにうきのちわ
おあることはまいむはまのう
いもも越てのもう学てはまと京よ
くやまこすのほ人にとへと
あほ人いさもあうをも云さ
きりんと思ふ寝まやうひた
よわあほふ迎江字

公おのきこ乃女をなんりてこ
うれもうてあけてんまハよ
いきて月日なとうおてたくし
なまくらけみるとせあ
あけなうやいあうんと思ひ
あ通城そてかきちふくうあ
四位みなうぬすふみこのあ
かくなんあるる
お坊乃君う好ひおはまいた
あくくのもあゆるにきこの
日りなうふけまいゆくしとそ
きわはまはよそていすをる

よびぬまくいまのわとりの
　あけぬとおもへどもあふさかのなかのひとのめをまちえてあけぬなりけり
てのひらのうへをめをおりひつしてすこしのこりけるをこ人のくちにかへしあたへけるうたはまいあまもかまをいとなみてあけくれとのみおもひくらしつるかな
　とくへやうわたりねをいふみして
となんくなりをはてるふねらんとおもふらんとてへりけるをいたうなくあとにまわりてるかきおはまとおくやりもなくてあまのかるもにやあらんとなん

ありけるをきゝて
　あふさかのせきはこえねどしらつゆのおきてわかれぬなみだなりけり
　ふるさとにかへりきにけるをとこのもとにいひやりける
　ふるさとにかへりてもまたあ

なんひさしくせうそこなとも物也うちなほ
わかはうの女く思はるんなとの
おやはらはれいけのみつくきたえぬとも
なまうううんはうのつうさい
はをしのあまよやれとうわきん人まひきわ
りそのへ給ふ江乃まうおそはなそのおはこ
もりかをかひきるうとよそやのさるの
かるうそ後つわきる
おかうとのあ条のそなるかあまさ
そはいうそうさうすうん
かみわなくかなとおりひてなきぬおへるを
みうくいつるけまは

あるバうそもへめもそをおもかえめ
うふみものおいてさうえみへりの後
となんのへ給ひけるいへ家を人りうまそ極
盗の宗姫たへ兄にわけるいへ家のきへ
あるとういふとうわおいきけるよそれ家のきへ
をわうわけまは猿たわけまのお
ふるさと後うへとみはへもいひをわ
ん芳の
あ源大納云乃忝たへふさのぬをのはむを免忝の
すをやへ云給思てすへ浪りおうふを事み院れ
わるうやはなそまつわおふてをとへよくわ
みともなとあわけまはあとをたえをれあ一忝に

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

なんすることひとゝそ
すまのうらのまもなくいひさーく
きこえとゝおぬよなもみをるかる
をわけまいかもて
さひくいかもかえおとものこれ
まやあとたひおいいへるらん
とをんのわをる
おのおくうれやをえをわおてみかとの
あいせそまほりおへをけまとりめにまよひ
てよまくうよひかひとふうおうへまて
あくといへはこほこをのまの
ふとやきんをよ

むまのせうはとゝ
ことゝいふ人なんあるをきゝて
すきをる程になくなりぬるをいかなる
しくのと思わくかとしにの
一条の后とゝひとの人のをは
まりて人なるをわくをとゝ
さわまいあゝと思ひおとゝ人
のをさの女なんあひたるをそかくなん
ありひきやをきゝひとのうあさよ
きこうへつくなんのとは
をやのとゝいひまとをつ
なさひとをゑがきかくうけーとそ

なくくもとのふかとうえそ
本院のふすまのはれおとうとのわ
殊といふいまをうちわ陽成院の見かとみそて
はなりたちふりおりはらく利けまハよみ
てまそまの作わきほ
あるたまの幸のへ殊ともをほちハの
いけのなまもハみつへうわくわ
みほこ西のまれまうさハちとい
たわけれかみもものなうわけまハ続てまわけふ
かすなくぬれをくまひのそうたまハ
ひうみえさをものおそわきわ
とようそまわけまいえ殊ふてはなおりはのた

まのうちよろやをなんのかひみ
陽成院のそけれこまちうのかねのりとに
ほのくそりはけなうもまひまうさ
おふいえゆるまよ
かねち
玄のかの
ほうきおれたる殊しーとそ思すまま第
有武アにまの出ハのこりまう
すこけう殊ちふまそねる女すう
あわけまはかね
あ表風うおひくおうふいむうーうわくほ
たりとりまそそうひーうわくほ

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

いでゐのことを
たのともをもてのそきそうまう
あたりをみ
あーきぬそやうにいでゐ
てみの年のはつ春のあめうれ日わうあそきの
利発ひくほう
ぬれさかくあまみーやとの草の葉も
きこかうあとそのほいはえんくふ
とあるくわ
れかー人同ーじこ
ほしみのはもとにひうーくおり
ほほくりけまいおうそのおとなわをわ
世うまとうひもをぬ男の夕ほまい

そくにものかなーうやな
とのわけまいのへー
ゆふくれうりのおりみ
わまをしくまうれとうやまとき
となんこくほんこよいくてのーくなんよみおをう
あーきぬそうおほ桂のそくせちふよもひ妙ひ
けまとおりーほほくりをる時月のいとおもー
わうくふ泉はよそほつたへうくあに
ひさうこうあるつよ男なわをは
ゆくともみえてきこいそます
となんのわをほ
京かおぎ傍流なるけほ比監の本ぬりなんす

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

けれ女のりとうわ
かーはきものりれもろ
男ぜいるつみあさひもあるん
もろ
うーはまのりわもろ草れいのよう
ういおりひはわーとそ思ふ
きなんひける
ゑおおたちわをりすへきり
盆女なんわろりをにあるとといひて久ーくいる
ろことはまは
あさひとのたのめわろ
いろれふうさぜそや
といへるけまは盆女めてる
てろろな
陽成院の二のみこ後蔭の中
う放すこ称をる女めのみこ
さろとひおはうわけまは今
きふめわと思たえていとなの
をるにいと久ーくわて思
うたわけまはえ物もやして
いわおろうへる称てみこ
う称乃事もやさんとそきう
好みーとわけまをあともも
せうなくうたえとたえます山めの

たまもの へ かうこゑ せ
ん ていひにた ゝ ん ゑ の
おまうのわれてさ ゝ ひ ゝ
するとも ゝ きのちゝひをる ゝ
白く ゝ ——り きこまつ
とい ゝ ゑ ときみそこ ゑ
となんやまこ ゝ
むえのゝ ゝ
あ ゝ をる ゝ
やう ゝ ゝ ゝ ゝ
ぬ ——を ゝ

せよこ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
も ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
となわ ゝ
柱のみこゝとみそうゝ
たわ ゝ わとこのりとゝ
それをたるおりみ
みさとありひそひとの
となんゝ ゝ
ゝいせうといふ人法師よなりて
あ ゝ ハひなとする人のなりは
よきぬをなんあ ゝ ひ ゝ
あるおわゝ ゝ

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

いふ事もさうてはゝかなわ
ささあといふ物うせのひはき
いきの名我のみ君の御
よみうなあとハ申我もたゝぬう
れかし人うちの芸術ふ
家にあまうまあはきわてよひ
といはもうぬもとハはれな
ともわは——もうひきわあさ
わきまわりはらうと
あさきわの中うきさ
もはまよくうれし
といひくわういせうと

あとなうもうまをもあるなん
まきれみえぬさとと
はらうとは貫之（つらゆきのり）
友則（とものり）なとてな
有式アはおに三条乃右大
ふりてこのり移てこうち
来ふけぬまはあまうまを
物なとせうはゝ高花をうさ
ゑそふ角——右はてうの
もうーのくふうわぬ
となんあるくはあと人くの
のわすまうくわ
なう京のかえ

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

のえなちいそぬると思ひ給へかひ事と
よたにの小紀伊國もわ石はまたたつ
たわ巻るを題みそへて奇絶巻くるよう京のかた
おきは風ふけ舟乃うらなみ志川まん
あこりにさへやわまハもなつの妻
おのうまやうの乃うえ益の衣ぬ
よそなるつ思ひ——よわまも
みそぬ寄そもうなそ
事みのみうもりうまやうのかたよそてそ
ぬつわたわる衣
のまてつひともあ衣へ
うさとたりうおふへうわけき

み
しくれのこ衣やまさとのまのもさハ
板衣ひとうやもりすきぬらん
とあのは道は雨りみ彩ん彩ん
衣染しそなふるそあ道を心ゑぬとそ
君ふなんこも彩巻るとさうもひなくなん
あつこと彩りれる衣船恒うの
まちよらんこれりとも衣ま衣はなの為か
ときいなうにあ衣そあ
うまやうのかえりとに女
いろそとはおもかえりとも
と紀よはを法くおりひそなん

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

堤の中納言の内の法使めて内より院のみこ
とはかりに参り給へるを心かけまそかり
海もいみじくあれたるまゝ雲ハ東よわいと
おかくなたちのかゝるやうにみえけまいとくなん
とてくもりもあへくのくとうみ給ふ
かゝるうちにとかくのことやあとさきくうり
伊勢乃國にお供まつりまかりまそかりぬるとき
この中納言勅をそくさりて
くれまどひの世こゝろやすからぬひもの
きゝいちやせけれとも
ハ西三ハきかすまた供まつりまかりぬるに
のまとなんいひをるいかもありうひとうハ
夜上して我ハえせさうらハしとたゝ
かくさけまをもうあまりうめに
おかしくほゝゑみて
失帝のめのみこのはむをみ一条の君とりて
京極の息所のをとうとくもふひ給ふよくも
あらぬ事のわてハそひふてゆきのかゝめめ
みその海すうわて
たゞにうりとみ人あらいわさうろ
あけきかゝあけていぬとこゝろえよ
侍従のもゝ海みちのもをたゝあきらの中納
の忌にあハせたうをるはよそなわをうふひ

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

のわゆくやまのくも井のとをは
日もちのくなるものをつわ巻
とそいひをこせたるをうくひすのこゑのあるうへふいそきけまは
のうれともなまつきうんぬまう坂も
なほめのもとみりをまんかわハ
ゆくすの中納言の君十三のそのうそは息赤球
内にまわくをもめよみうもハいく野一めく
筑なといやかー〳〵くおもふけきおくろうそは
門にをてそ侯ほり跡くる
ひとのおやのもとよりあるふみをも
みをおもふみちりはるかなるうか

女帝いやしのまこよおりー〳〵たるくわ法のへも
ハあるけまと人えもくはる
平中うん院のこにたえてのちねへてあのひたわ
くろそめちおりひをこせたる
うちとけてきこいふ孫はうえわまハも
露のをきねてこひりあるハ
女もー
もう露ぬまみ
わまいきてまおりはいふ神
陽成院ぬ一条の君
おくやまりもふをいまてうふをは
みさもみちのいわをみまー

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

せんていのはとまき（えまきぶ）形アのきこと
くるゑ文衣のさとに掛うわりて妙ひさ——う
掛りわ跡ハさわきるにけうり——をる
おうう〳〵をわされり掛ねハみなまや
よそうりのこ——そのとはけうほらん
おあ——みうも欲院ハそこのはのとふ菊よつ客て
ゆきてみぬひとのうあうりとおもりひハ
たまうをうう——わうやとのさく
欲院のはを——
わうのやとりいろおわとむるきみなくい
よそおもさくハうふ欲みまや
うゐんおりのかわて

くをなうてこうきえ形いいなれいかの
うき世欲そむくわうう考なわくわ
欲院よわ内うり
おなーえをわさてしもをくあ奈ゐれは
ひとりもはうくおもかゆるかう
掛うへ——
そふのいろをうそもちわなんり掛三りの
ち後ゆきてはをか——とそありよ
西連も内の御
わさはこのふうさうねハ
ううみられぬるあおそりわをる
陽成院よおわをる坂上と欲みちとふ男おり

院にありける女さうぞくあはせうれ
　わきのくをわくらんしのうへや
　　こけさりもりあへなくらん
おとこのもとゆきの君三らう
いくやうせしてあやかもりくまれ
それおーのむすんかこへ越
いきくほえてありひをるともち
てをこせたりくわ
　　こわしてゆくえひなまとうわそめみ
いのちもろねハうへらし
おとこかもなく思ふる女はをきて人のくよへ
いにくわいほーっとまのちくほうりおきといひ
てきたりけきは
　いきのこんといひてまのわ
かゐわと受けとお城そき
ぬなんいひくほ
城お指るうりわ（ゆみ）陽れ
まるをとしはくるきそみいきく
ゆふはまハみちをみえ袴
りときーほうりほ
女ろー
　こまよあうほりせたりけまう
ちふのきるとおりひきる
を江介平中興むとをといとう

かうおさうくしき事をおもひ
なとうちよひまいつそ坂のうへ
きぬあまうまうりをたちよはち
てえあわくにふくをなんむすひつをたわをるお
さそえきハ

よ中のあさき袂ろ
きのふれふちのそおとあうみま
とあわはまはんくそのうきわなくめてあくまう
りはまとくそはさうしひきくさまんなともえもろ
さわろおとことものいひをな
ふちろそふいろのあさくをこゆかるる
うなひりろあこりある

のうさむひきとといひろひと浄衣とはいやにお
あうおりひういひなるなわろかもわなく袋て
おりふかをもいひりりをわのうさんひきを
思ふてふきくなはあとひをんせうへひとりなおかをりひをん
とりひをこせたわろれ上さう大とくのもろ
ゆくすろすくせをもくぬもろぬ
さみうかまわ男とそのひをな
なた京のかえれ人のむをえひてえまわけま
ふをおやきつをてのくもろわてのり務うわけま
きえひてあのよろわそおりたふ続て座わろな
さもおういみ務のおうくめ

ひきえたる残うらうらそそ
平中めくらを思わらきあ
きえをきたるわらわふくけなる
つ男よといおもろうのめにもろうふやあ
きんちうと思なうえやくめすいちく
云けまはちかくたにえようて
うわかくそそりていひきわ世中の思ひかか
みわろおとせういまもすきそせう
そうたまんをのまをさなん思よをいひくわ心
女たくみよ物なとはくそくほまうよなりて
まりおとなういもわまと思ひきりそ女いに
きわとはかわおわてをこせなわ

まうふなまえれ
けさたちなうちきわ
南院ハめ君みうはのかえまを
あわろふいよれこ残けさうは
けまはは息所のはりをよ門へ
をこせたわけまは
なまをえれうちとうへ
うけをうせーとおりふなわろ
といつるをわよ
あけさハうこうけさやまのかやくきも
まかくまぬて自好をわこそなく
なといひろわうくてまりをいふをありぬと

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

わのやとをいつ
なるこ―あやめわかみをこする
ほと―
かり―はきる衣りわのかこのまろ―なること
こうてそわわ―たるりなるなる
君文うみちのきるのお軍りなるてくるり
はそれうむをめなわくる人を監布姫也ひてわひ
かさらひくわむきのまるむくるめとりをくわの
うわきぬうちきぬさなをなわくるうれえた
ふおとこ
よひくうう返―さぬ
あくなたくきのりのまる

とうこけきハ女めてくうわかあ―ひとり
監布姫やまりくをなわたわけまは
みちのくのあさらのやまをもなるにに
こえハまきのまのかるまうまうまを
となんいひくるこそはくみなるいるよすこをる
そおのをなんとりてなわをる
かもうハのせよふをわいをとりて
称てあうあうせ妻ううみえほや
かくてこの男みちのきへくるりるたうあ
ほきそほきなるあくとるもをうる
なそやまひ―そなんもおくるあいとあくまと
なんと思をるかくきてひちまのむまやと

いふおうわたうわはをてほうれなるかうも
をうきたるみを城なんりそまりをるいとうなし
くそあまぢのりのりそをとひはまいはうひりひさ
しくなりてもそきう添うをんむりわをんみ
志のほうもむはやくくとときのちうひし
きこハむうしくなりそ志にうり
とようそなんおをけはわうハまそ及上して六七
といひけうをかうみうしそくう人承よおりてか
袖の使うけてはやりともよいくなんりわをる
女式アにまう多おをうはハそこのはこりり
花りりりみなんあうをなはぐこのちう納云の
よん給ひまる

さそにかひうけまつかうを
ひとの世まわハえし
三条の左おとれ法もう
りふくりうかうちるともさよぬ角
まるのかさきひとりよそうき
おの家おりしまるはまま法よすこ於ひ
きうのまりはともよ美威まのりをりめおて
物えり妙ひなとしくうう多於てひちう法院
えるよいとはまなる池のいとおもしる
あるまなるはまは猿をる
いけをお城せくなうりくみそ
うえうきうおまる美そうなき

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

ひとのきはめかにのくさりまものうるむまのうるむまを
をはくくうの中納言ーそこ云ふをきくまくまうそ
こさわはまいいひをわくくなな
わゐゐへ考こともものをひ孫もすに
まりとそうへをおはりのきはるかる
とわわはまいきことひさよくそりきる桜
夜のもんてんハおよすこーをくそりきる桜
をちかくわうへ孫をるうにみえはまは
やとちくうーそうーひもなく
きのちと城りりこそのろうるれ
ゐこと孫をるれおー中納言亮人まそおわくな
人のかなハかんまそくりきにわのまおと
きる夏ちうおこん
さくりりこれもうををもうお孫とも
ゆきのまふくおとなお孫ん
とな須弥ひくな
松ハひこれ法りをたわりきたわをる夏母
法息不さくはをおてかとをはくせ弥はまいよひ
とよたちわらひてうへはとそかくきこえ物へ
とそうものはさ法うわりのひいまくな
こよひあうおんたのの河りぬちちり
おまてうへ法ときこいもうをや
あまれおーみこまれなーな男
なうき夏をおかーおうみやくちかめ

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

けみわいうそうい
かくてこよひてあひ給
来世ことをきるに参り給へ
に院まていあまりけまは参り給ふ
まいわおうとおうこめそうちはまとめてなわけまい
えおうは侭らていう義参り給ふけまハよりたね
きうとうろうよこおうおうはくおうこめきん
きこい君うとこよひーもり
益令婦勿耕の戯伎乃本婦
乃えこ見妙ひてみなふおきのとひけ整うきうまひ
きうはふこわきるはお事う
うちつきうはとふもうくふとうかう
なくさめやすくおかゆるうふ
みこのはうこそいうこわきんまひをうくう
よれなみこれれおーお
うわを侭のうにうのうんうきろれ
おみはふーくあるうハせめ
宇治院乃老れり治うわ参侭南院乃西達と老
うまあのまわてうこよこをきくわ左京ち家宇
きそうれとあくふとらまとも
せうーなうろうきうあれむを免うん
あら人のもをけら季縄乃かおれむを免うん
なきさいのまよさみーひ参侭初云の
君おりーきるたの免初あ参る文に参

の表なんすこおなとのひのくもわけまこうる
なわけまいうみ表りよとてそまつわ華る
よ一思へゆきのひ降りぬ
むあーきみをはよう屋ー
やさん
やなんのわをる
む月のはあたちる花大納言殿
たわきにに物なとのたまり給て
めとの妙ひはまいよとよこたわる
ふまわい煎八屋りうまわそ
わうおけこりとなまをそそりん
やよこなわけまいになくめてたまふてはも
うをうわらひをえをはちる務ぐ

もる花殿わーやわうのおつまはー
やなんよこれをるたーまのる
ひやうこのかんなわきるおとこの
きう女をさて京へのわはまいゆきの
家よいひをこせたわ華る
山さとりわまをかこめそわうまる
ゆきのまにくよめくなるらん
やいひたわけまはもー
屋まさとりうよもうさり
ゆくもとまほをあわ
やなんうんーたわをん
おなおとに紀伊國りくそ

きぬ我ともよをこせたわけまは女
きのくにのむ波のうらかりゆくひとハ
風のさむけもおりひろきを
うへ
きのくにのむ波のうらかりなろ
きそやふ庵のなきそうるしまよ
浪理の君かむまのかえすきなはかのあとうち
はまはうらうへよ波うらとそなえ糸りこぬ
といへるはま
あまなろぬかさをもれわくなふまよ
うろんうもなそまひしま
かくてむまのかえいうをなわにろふ波よそ

をこせたわまろ
いのてお波り波のひれありあとをりん
なよにわてうわまをとりおと
をいへるはまいもり
ひ波わかうおはひれのよふりのう
もろすは宇治のひとにめて須なろふ
みたの女まうよひきふはひろするあふひの
あけぬとそいそさもそすく
きわさちぬともひとにきか寸ふ
おとこもめ波むたわをる
いまふしそわまいきえなんもろ露乃
うへまそのちれりのいか

まかなるさまうのあさあ
うへうへてのちいりのやまと
おなし女よけちかくおなといひてうへてねよ
よとてやわをる
よとちかとそきみうかくめてさるいい
共思ふすい我ものるらん
波理う西
なこもおハおもとなりりる
よおのもハうそのわをる
おの女にな無アエまれせうそこをちるまひ
久わおハ——波さんとの竹ひはきこえをる

たかくともなるうはせんれなの
ひとよあさよあさの中ねにいきのすうわをる時遠の
後にちまそいそさちおをわうよひ初をる女れ
たえてひさしく成にくふよう
うあふさもたるへうわをるをなうしうて
なんまにをほのとのたまんとひやわ竹へ
りくうしあ女成けまハよくてをせてんと
思ひ竹ひをくにいろなともいとをせたわえ
この香なともいとかうりしうてをこせたわえ
ん——なるうりのりしうてさなわをる
ゆく——そいむともいハひもの

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

うきまでは あまり
をのみ泣きていとゞなげきまさり
ゆくゑもそこはかとなくいたづら
なりといひもてゆくに
有権中納言花のあかいとの
草乃ころほひのゆくもこゝろぬるり
日の思ふと月日のこと
なんもの思ふみかくなん
いつまでかくてあらんとすらん
ひとりそなげきにかゝらん
あくいひくてほるふ

たえぬ人ひとりの
伊勢の歌文乃ごとうれ
ふくもおもひ中納言歌
そのゝちわすれてくふ
てそのゝちわが
侘ひのうちひ
いきのいうひなくおもかゆるう
とかんあるを
有中勢家れみすうせ
をえをくて三条右大

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

なとすくしてハはゝにひとりハすく——給まう
うわれかれきるれうとのはゝそとも君をや
うそえおりハとおり給まるなるはさりと親
りくもおり給たるまいうわきん充
若陽詣の日
給授にもれ
りそくとなんきこ弱きるそ心はゝありて
りきんりとのまにんわわおきふそ時
にれ息所のはりとわ
なきひとのもりたるをあるつまか
いゝはもとりへゝはゝそふのうなさ
家乃侍なり
をもりみと思よこ後のみくむきと

うひわゝへくをなりとこそ受け
きなんあの巻るれかりおかいとりくやす
所みうやむれり一はきす放てぬ式アはまなんすこ
よそまの所わたまひ巻るをいうくわきんおりし
はゝくり巻ふ後決まりはりとわはみこそ
まは巻わ給へるき巻るにそやふ巻而ふやのおりしま
さぬるとなゝとやゝ竹みてれくる
もくやまにみりかりゆきわあとたえて

いまのハこう後のひとも
きなんあわきるは而わまとおにあーとのわかく
てれの而乃給授よきこまあり勢まわおそくわれ
あーこ後れ息所をも敗はけまい充

のおとゝのう衛門督にれう
きこえおきうみきこしめし
おふておとゝみやもむとゝ
なれうつかとゝもとゝ
うち笑きこえくもおとゝ
おかきおとゝのきこえかさう
になりてはりきのおとなと
おもふおとゝうちゑみ
いとをはなまよおかはまけ
かくきこえ月ハめくそくれと
なをきこえすそおわをる
たのおかさとゝ花のれ

りうきこえくきおにをる
ほとゝきすみのみやもなん内よ
りのゆるされおとゝきよら
にをきこえうさ称ふてきさの
おて院のせうこいとう
りのゆるされねとゝやきこえ
ぬくをりこなと思ひ一な
うるのいろハまるもあわをわ
とそなん竹ふをるそれ
おをる事おのみやものれと
大井にけうきの竹へ
にいろくのいとおもしわ

なくめてのふてり幸もあ
ふみなんありくほかるふ
まりらんなとや　なまふてはる
をくるふまりもみち繁ちる後あるい
いはひをたひりこゆえまるん
宅なんあわをほかくてうんへ
なまふくれいとけうのほふ
ひりかうとひふうをー
大弁（だいべん）よ乗縄（のりなわ）かねすこ
をくる花おもこなく啜（すす）おはう
おわくふをおりまひれて
されはせうこやう

ちこぬまはく廊きりの
きーのやまふまくふはりなる
宅あわけまはいくうねまこ
をまーてなん院発ーー
ねあかねやまひりいとい
うーをこすわて周（まわり）にまいわた
八条掃部助（そうじのすけ）そ発人（ほつにん）なるをくる
うんのそけにおひていひ
ゐまるをたわそ袖をいと
なくなまハなんまのいわけるひ
まそはこと院うわいてくあ
ゆきよおうーー好へなとひ

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

ねくろ（ねぐろ）あわてがねのもと（かね）をなんをこ
せなわをる（ゐる）ぬみまへ
（ゑ）
風一くそのちりあ
くふをかもをいく
をりこときたちいもあきま
ひつひにとふいくもれ
いとよりくなり妙ひにたく
おさうよもきこえすみ（ゐ）
をいひてさとにまうまとう
とも後もとあ（ゐ）ひゑみ
ひをそのわてうをりめ
いきはなてんまへいとい
てうもう（ゐ）ぬまうひをる
連となるひあいこ（ゐ）
くゑわりうわうくてあ
くりやう（ゐ）けまはみ
なりまうわ妙ひをる
玉佐（たまのこし）ちよのをるひぬひ
人やまひしそよくなわて
ゆくとそよこをる
ゆくひとはをれかんうんといふものを
平中（へいちう）いろうのんそ
りなり比（ころ）はよれんていちわ

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

わきハ志(こゝろざし)をるそれになさ(ゝ)
まおたる日よなんおわ〳〵ほ平中(へいちう)なるのこかく(ゝ)り
てになうけさう(ゝ)〳〵ろねかみそ(ゝ)なんをこせ
なわけれ女(をんな)とも車(くるま)なわ(ゝ)〳〵人(ひと)ハ杉(すぎ)むらわ(ゝ)〳〵を
なまよおほみ(ゝ)みうとなんいわけおさうわけ
まハおとうのもとうわ
り(ゝ)〳〵きのたもとのうすいろ(ゝ)あとも
わさてありひ(ゝ)いろそひ(ゝ)き
もいへるこをるハむうのかんのむを免(ゆる)うなん
きう〳〵ふそれなんいとうまのいわりきり〳〵ほそ
れをを思(おも)なわ〳〵ほまハをむさ(ゝ)なん(のり)ほハ女(をんな)
ハ(ゝ)ていひほにをほうこちきよ〳〵かんなる
くなどしそのきわうとよなんおのをるいとい
うう人(ひと)〳〵けおうこすまと思(おも)おうてお(ゝ)とこみと
もをてなんおわ〳〵ほそれとせちおよひまハ
おひにをわをあ(ゝ)たよみ(ゝ)をもををよほうそ
形(かた)ともを心(こゝろ)うしと思(おも)〳〵てみの白(しら)そと女
もをこをそれ(よ)ふこまちほとほ〳〵まおほう
う人(ひと)なといとあこにりの〳〵路(ろ)とこ〳〵人(ひと)を
あの〳〵かく〳〵おひ(なまり)をわ(ゝ)そうみうういとほ
もさうわ(ゝ)あとおわともにし
うぬんうきあとなとあまうも
おたる事(かた)を人(ひと)もりひはまほあろうくを御(ご)と
思ひてうおく〳〵わうれ(よ)ま(ゝ)〳〵やとありひてきそを

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

まことす又の日もおこ
をしめ六日おなりぬ
くひはうの人なと
てひこ屋ゝおへきは
て屋ゝおとりきを
り物もいてこもりぬ
なりまろかゝ
なわよろわはうふ人
ひものいとんうき
もこれまをおくたる
うまくおく人
まろうくりふやう
そ人をこせんと思ひ
うふ物へいまいそ
ゝ屋ゝをひをこしてい
うえうーまとゝきか
のくもわてさうおう屋
ふまりまみう
おてかりきぬうこ
うそいいをわよふ
うわいんとひるに
なうみかさへ院
女のうふかはうふ
きよくふおなねも

もみつゝいとうれしとおもひて思ひくらしかなしきそをとゝへハ
物おもうのさまかおもきにえんとみまハうの家の女もむすめ
てみこをとりて見るにいやしからぬきれたるかたびらをきて
いとあやもう学(まなべ)てていうさまいとの
ほまの海うなりのとさて一めと
わうめまへ(うへ)のおもとなたなわを
もまさなわほまよ(ゆ)ひたるかなくれぬんきもをまとりてこ
やうはくおいてきうまハこさちもの
のふくふいう一うまとひおとしをかんちめも
いやもむものくなんさそうわよ(ゆ)わをはくく(ゆ)
とりひてなくと思よおとこのくちいとうあ
てうかくうすきあわきをてくひ一きめを
えうらんと思へとうひなくみうかく
世(よ)わされおもたなうまそやくとも
ほまのうはさやそなるへま
いとあさう一きおえ物もさえんみつうたく
今(ほ)ハりてとなんいひたわくほかくてをおちち
きくわそれかもん(ぬ)女(め)いぬりこめんのかをわるり
あ(ほ)やうさそうわ(は)ひてなくすん
おうをまそ一物をうおきくえんはあうをたゝをと

き人といひけるところにいふかひなきわざをしてなげたるとや思きんとてなん男よそにいでたつをきゝつゝ
——をるにこゝろもとのかねにて女
——とみひとあるこゝろいのちは思ひそかねをも
——りたるわきさまへ露ハ男の
きこえとももとちさわをきてき
中をきのをもの助りひもをんえのくるわらひ
て上さう大とくをきんしやみ——とよひ、
とかくいひくるあるこゝろもりくるわ思ひ
てあのへそ人のおいひなをもうえてきる城世に
男と思ひてうをこゝろよくるわ京城おりひ
いと哀かおかえてをこゝひきすうおいもうひ
りわていうをこゝろよくるわ京城おりひ
いと哀かおかえてをこゝひきすうおいもうひ
そうさりうをこれいみえをるおそれ
みこそも思ひてとわてとえまをくらのわのおりみ人
のみこなわうけはそ
すこそあひくるまのやうりのふひとは
たとふくもうへくるわきあん
もうくわいとあやーくをせはうんと
思ひりそくへ表たよわもおかえをいもあ

うわ氣みひとうきをとひ
おりわにをわそをこせたわを
うくくして思ひまひーさを
うてうえけうくひとのあう
もて
さてもさこわすまくうくひすの
なくおわりをやおりひのくき
もなんいへをく
わうあうりくきんをなうう
なをのけをなせをやうくん
もいひくわはなかにくうはてそこたち
うんたちめよいひかへとみうもにそまはらん

とそあり給さわけまとひそきれおやと
くる成(なり)よくわ(なくぶ)ある云アわ(なくぶ)のおう(なり)のなおとみ
ーうわくをまよう(なり)ひかひをわそこ
おぎの葉(は)れそよくもりそうみけ
うぜうるまそ
あまもおの(こや)
あさくしうひとはろるらめをきうはの
たゆるふくねいあーとぞありふ
もて
をきうもいそ海をくだるみろあさん
たんへくのこそ(ん)仙(ん)へ
かくてらの女(ん)のやのそ(ん)なとすまをあはて

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

ゐなんきこうの女
まひらふくときはのやまのねをぞなく
あきのくれのあはれなりみてまて

なくなまとおかひうなくそおもかゆる
おくゆくとのいまはかきけち
みれなし
くも井うて世波ふる波はさみまめ
なあのーまそいをうひふな
うへーー
まはらうおよもまし雲井りやんけめ
いかくりふけなくちのこーて

ゐなんきこうの女
まひらふくときはのやまのねをぞなく
あきのくれのあはれなりみてまて

なくなまとおかひうなくそおもかゆる
おくゆくとのいまはかきけち
みれなし
くも井うて世波ふる波はさみまめ
なあのーまそいをうひふな
うへーー
まはらうおよもまし雲井りやんけめ
いかくりふけなくちのこーて

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

なん言うりあと女
あふのねふ
南院のいもの君と云ひ
むも兎也それおかき
ひたすらひそわそ
きことやうにそきさう
うわおりたえにそれと
法をそかくなん
ふわそめうりきこうふ
ふもうまみをいそ
なんのも参る

おの女おかこう半をうわ
それそそ所わたわ
なわをるかくわ事うり
わうのわをうしうやきてにきん
草うまる露
なをんなん
おかうくバくをらなる神世月
大膳のかえきんひうのむも兎とも色あうたのねと
せいふ不ますをわおかいこわさいのうやに
かねのあといひてさふひうわ三よあうわる
痛ねるさねあきまるわのおとなわを時よ

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

なんそうめんれいとこみ
こよなくて侍りふる
　この世のかくてもあ
　ふちなをたまりと
なんなりわきる
おのれ女房よ兵衛
世なわきる風妻あ
　こちうをハふねく
　めめも世りこよ
とよこきり
兵衛のすけ
きそいきそらの女ともち
そてみわてやわきる
　せいきそふきそれのち
　なめはうーとこ
うくて兵衛やま吹
もなともに弁
　ひこわわうきな
なんもハこ
おまひろふとき
　おかうこもたくなめ神
　わきのこそうこと思へ
あきもれな人
あふあとのあんのもく草みうくきそ

きんひらのむすめ

なるけくもたのめきるかな

袖うりなんたのうき

桂のみこ

露ふかき草のたもとを

きてまれねとや

宮人のおかいきて

むすめかわりふみ

ままのきこかすまし

おなし女みちの國

のさねきよりてをとなる

をもくてをこなる

桂のみこ七夕のうた

きわさて

袖をしもうけ

おうぬもれりひ

衣のおくの

いまのもうまて

なんや

あ秋もこす露もとうも

まろうあうりわけま

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

志なまよからんとそ
うらくてをりて兄
あふことをひさうへやま
ものいへるをかおかいきも
なともりいさとけ
なとうはひとりこえんとはき
ものひまるうそまりを
すやあわをんえなのいさ
そのたる男(をこ)乃りとまる
あのはまよいゆふをとわいひをたわる
おとしぬ(れ)をそ
あかい君(きみ)も

あうのおうめいはりきこと
とうまわかうえあ
おかきおとこいは大(だい)せなる
に枇杷のおとこえなの
そつまかたんよなわぬ
おかきおとこひめをおわてうふて
をそくくつまりきる
たうへをきたなとうまさて
をあわくほそれのうまいとも
妖(さいく)まよそきの序わ於そ三条(てう)
屋のてあまにうとさはを妙(みょう)
いうてかく并きわもぬたひもう

大(だい)和(わ)物(もの)語(がたり)

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

あまはゆくみちのうけと
なむわをわそは逝(こ)ー秋まふ
りくろりくて朧(おぼろ)ひおきふう
もの中(うち)姫(ひめ)君波(なみ)りすき荻(おぎ)れ
てけおりくおわよくわさう
そふさうろいれにう宰(さい)きわ更
をひといよ女(おんな)おひめかうきく
さねまうか武(ぶ)蔵(さし)ひくほ人のむを見のおとこ
みえけのひとよもきことねぬとまそ
ちくさのありりねあうなほ道
をいへをばは女
ちくのあいあとくのふまう姫えたけの

こちくのあうもきこえこなくの
やーこう志賀(が)まうてたくわをるよ修善(ぜん)寺(じ)こと
いふは神(かん)坊(ぼう)わくれまひえよを無(む)院(いん)の衣上も
するふうーふなんわきるそれうのとーもの
まうてたる日志賀(が)よ姫うそなひよきわもとの
みはかおをしてぬてよ後(のち)ふと彼(かの)ひうり
妻(つま)りいまのいはそーこうへるとなんと走くわそれふ
物(もの)うまのとまう
あひそいわくふくこうとのなうわをは
ありくりのいおもふいさうまーー
いうなまうほくものをありふらん

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

おうわもなくそやまいかるき
せなんあわきるみとくもものとくおかくなんきくる
れなーおうきき君やまるくんのをいそくれおうよ
めわくる
草の葉(くさ)の葉(は)りかくれる露(つゆ)乃(の)身なきくや
ゐん　おくねうくうくまるにりへれさねうつる
本院乃(のん)御方(おんかた)(きさいのみや)まる捕乃(とり)大納言(だいなごん)乃(の)めいそいまのをう
りくるおわり平中(へいちゅう)うよそてやのこ(ここ)をる
くるのかうみとわにりへれさねうつる
わのきくさ羽とたのむいうふそ
をいの色のをるかくいひくてあひらきるうき
くわそれ枝乃おかくるのみれかさそのくわ

孫ひくるとき続てをこせたわ参る
ゆくすものすくせをもつをまつむー
ちさわーあといかもかゆやきくる
をなんいへるくるみ
もうるいとおかうわはまとえさうを
泉乃大納言(いずみのだいなごん)乃(の)君(きみ)にまうてかへりきわ
かうおてさけなをまいわ色ひて奥(おく)いるくふけて
抱ーくもなく抱ーおへをおるる衣をぬきおそ
いりくに抱ーかへなたるわみんなと守
えおそえかうーあけ乃(の)たくみ称
けともおりわをりーのをまおとりなるひ
をはおてけせうとやーを

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

うちくさのわさをふきたるへを
よハりみそわけあとさゝふやう
なんのおとをおとしたのかいもきに
おのれとおりてうへ衆よりひとよおくみたまの
りおうひおて大ねうり物もよ(うそ)ねもおくなま
りわなと——くわうのたゝくゝものむとも見わと
きてお風人なんそんといひきわおとこのうとうみ
なわといひきわおとこのうとうみ
志あとうのこおのおとにとなんおうとといつま
くふうへうまもとよ

まうやとのひとむうおきうとうみ
むすひとさきおきうとうみ

もなんふこたわをう(はふ)ゝいとちいさゝひす
めよなんあわくふはくゝにあわをうひまさのる
いひきるいいとらうあわおのゝくて世(すぎ)ゝふ
物になんあわをう年月おかくてのわわわをる
をすこともうはきまおひて家(いふ)も摩りかゝひ物
のくをそおとうまとてくひとうなわう
きうかくりともこうて(のち)太(たみ)うての使よくうり
おてそれう家(ふ)のまわくりはたつもてむうゝ
のまいひきん人よりうて、ありんいはくみうも(む)
らんとの竹へをうのわまよなんすゝおわ——
おとゝもなるんもいひくゝわあまうゝるさいさ
よいうふ城(き)おきんたはもてうれとの竹ひきる

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196

ガラス使用

狂おうしらぬきれうおの水くめるなんおもう
あやしきやうなるいゑりのきはのほんおわて
元なんひうふのするのひくわいうしうまうち
詠てよりひまとくちてこてうくなんいへるを
むしたまのわりなを狩かんいこうしの乃
みやりくむこそなわれきろうふ
きよこたちはまいのまうてきたちくあこ
めひとうさねぬ我てなんをわるあこ
みれの人大弐(だいに)のさちまそてきれもみち我よま
せけまは
しのねいくこうろのくれお井そ
ふちいのまうりやまのうむらん

ひひうきのみうなん猿(まこ)といひてすきりのとも
あはきうわてよこかさうふきすをつきさせん
とそかくいひくわ
わさはこの中まそはさをしふ
とそすをはさするり
あ寺乃山邑(やまむら)やうこよゆらん
とそはをなわをる
つくしなるふ女亲(めうとこ)よおとこ我座わてよこをる
ひとをまの座といくくそなわよをる
空なんいへるをる
まをもはくしなるをんな

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

といふ人をけふかとまつにいつしかあやめ
かひのねもきこえ
おりふしもあやめふきわたるころかな
なくてをるこうかはなにもまさりけり
きよめわけまはいとよりなくめでかひのきり

大和物語上終

旧請求記号
195-42

国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196
ガラス使用

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『大和物語 2巻』 請求記号 WA7-196